「地区ガバナー要覧」2011-12年度未来の夢に関する補遺

未来の夢試験（パイロット）地区

2010年版「**地区ガバナー要覧**」に加えられる以下の変更は、2010年7月1日から2013年6月30日まで実施されるロータリー財団未来の夢試験段階（パイロット）に参加する地区に適用されるものです。試験段階の終了後には、全ロータリー地区に新しい補助金構成が導入されます。

第6章

国際ロータリーのロータリー財団

第6章を以下の内容に差し替えてください。ロータリー財団については「地区ガバナー要覧」の全体にわたって言及されているため、第6章以外への変更も以下に説明されています。

未来の夢計画の下、財団管理委員会は、補助金の種類と補助金の支給方法に大幅な変更を加えました。以下、および第2章で説明されている通り、未来の夢計画に伴い役割と責務に変更が加えられる場合もあります。未来の夢試験段階（パイロット）の期間中も、ポリオ・プラス、国際問題研究のためのロータリー・センター、募金活動、ロータリー財団の各種表彰については、変更はありません。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリーの地区は、クラブによるロータリー財団補助金とプログラムへの参加と財政支援の調整にあたります。ガバナーは、ロータリアンが財団を支援し、財団の提供する可能性を理解するよう、意欲を喚起します。

責務

ガバナー・エレクトには、ロータリー財団に関連して以下の責務があります。

- ガバナーおよびガバナー・ノミニー（決まっている場合）と協議の上、地区ロータリー財団委員会および小委員会の空席を埋める委員を任命する。
- 次にガバナーとなる2人（決まっている場合）と協議の上、必要であれば、次期地区ロータリー財団委員長を任命する。
- 地区内のロータリー・クラブとともに、財団の目標を設定する。
- 地区財団活動資金（DDF）の使途について、地区ロータリー財団委員会および地区ガバナーと話し合う。

- ロータリー財団補助金の適切な管理について、全クラブを対象に研修を実施する。
- ロータリー財団の補助金を利用することに関心のある全クラブが資格を得られるようにする。

ガバナーの責務は、補助金活動への参加や寄付といった形でロータリー財団への支援が確実に得られるようにすることです。このために、以下を行う必要があります。

- ロータリー財団地域セミナーに出席する（このセミナーは、ゾーン内のロータリー研究会に付随して開催されることが多い）。
- 関心ある全ロータリアンを対象に地区ロータリー財団セミナーを開催する。
- 地区ロータリー財団委員会の職権上の委員を務める。
- 地区ロータリー財団委員長と協力し、すべての財団活動の計画と調整、評価を行う。
- 地区ロータリー財団委員長とともに、ロータリー財団補助金のため、またほかのロータリー財団プログラムへの寄贈のための地区財団活動資金（DDF）の使用を承認する。
- 地区全体にロータリー財団に関する情報を伝える。
- 財団資金の適切な管理を促進する。
- すべてのロータリアンが毎年ロータリー財団へ寄付を行うよう奨励する。
- 財団への支援に対しクラブやロータリアンを表彰する。
- ロータリー財団補助金を申請する全クラブが資格を得るよう確認する。
- 前年度に実施されていたすべてのロータリー財団補助金活動について地区に報告し、適切な資金管理と透明性が保たれるようにする。

地区ロータリー財団委員会

地区ロータリー財団委員会は、ロータリー財団とクラブのロータリアンとの連絡に当たります。地区ロータリー財団セミナーやその他の仕事に力を貸すことで、財団プログラムや募金活動への参加についてロータリアンを教育し、参加を促す上でガバナーを援助します。また、委員会は、ロータリー財団目標の設定と、目標に向けた活動についてクラブを支援します。委員会の主な責務の一つとして地区財団活動資金（DDF）の管理があり、これには、新地区補助金の配分に関する地区方針が守られていることの確認も含まれます。地区ガバナーは、この委員会の職権上の委員を務めます。

地区ロータリー財団委員長

地区ロータリー財団委員会委員長は、ロータリー財団の諸活動に関して顕著な知識と経験を有していなければなりません。委員長は、委員会の全活動を調整し、すべての小委員会に職権上の資格において出席します。委員長とガバナーは、地区を代表し、地区財団活動資金に関して署名する権限があります。また、委員長は、グローバル補助金申請書に不備がないかどうか、また、申請する地区内クラブが資格を得ているかどうかを確認する責務があります。財団の活動に継続性を持たせるため、地区ロータリー財団委員長は3年任期で任命されます。

小委員会

地区ロータリー財団委員会の委員は、以下の8つの小委員会（第2章の「補遺6：地区委員会」を参照）の委員長を務めます。

- ポリオ・プラス小委員会：ポリオ撲滅に対するロータリーの取り組みを支援し、ポリオ・プラス活動への参加を奨励する。
- 補助金小委員会：クラブが資格を取得できるよう監督し、ロータリー財団補助金の申請にあたってクラブを援助する。適切な資金管理と補助金管理が実施されていることを確認し、補助金に関連する活動について不正があった場合には報告し、財団補助金を広く周知させる。
- 資金推進小委員会：年次プログラム基金と恒久基金の地区募金目標に向けた活動の調整を図り、寄付の懇請を行い、さまざまな寄付形式についてロータリアンに情報を提供する。

留意事項：未来の夢計画における地区ロータリー財団委員会の再編成に伴い、未来の夢計画の実施に必要な地区活動が反映されるよう、小委員会の構成がこれまでよりも簡素化されます。必要に応じてほかの小委員会を追加できる柔軟性が地区に与えられていますが、「地区任命書式」にはプログラムごとの小委員会を記入する欄がなくなりました。担当分野に応じて、ほかのRI地区委員会にも財団関連の責務が割り当てられます。詳細は、www.rotary.org/jaからダウンロードできるロータリー財団章典をご参照ください。

お忘れなく

地区の関心事項や目標に合わせてこのほかにもロータリー財団小委員会を設けることができます。

以下の各地区委員会に、ロータリー財団関連の追加の責務が割り当てられます（責務の詳細なリストは、第2章、2.10〜2.16ページの「補遺6：地区委員会」を参照）。

地区大会委員会の責務

ほかの地区会合で報告されなかった、または報告の予定がない場合、ロータリー財団活動に関する報告を大会の議題に組み入れる。

財務委員会の責務

地区ロータリー財団委員長と協力して補助金資金を配分し、報告書の作成に備えて補助金活動の適切な記録や文書を保管する。

会員増強委員会の責務

地区全域のロータリー財団と国際ロータリーの学友活動の調整を図り、会員勧誘を支援するとともに、入会候補者ともなるこれら学友のロータリーへの参加を促す。

広報委員会の責務

ロータリー財団活動の全側面（ポリオ・プラス、補助金活動の成功、学友の活動、地区やロータリーへの賞や表彰）について広報する。

RI国際大会推進委員会の責務

ロータリー財団に関連するすべての大会前・大会中の活動を推進する。

研修委員会の責務

地区ガバナーおよび地区ロータリー財団委員長と協力し、補助金管理セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナーを含む地区セミナーを計画、実施、推進する。

ロータリー財団地域コーディネーター

地域を担当するロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）とロータリー財団地域コーディネーター補佐（RRFC補佐）は、財団の関連事項に関して、ガバナーとその他の地区指導者を援助するために任命されます。コーディネーターは、以下の責務を遂行するために専門的な研修を受けます。

- 地区ロータリー財団セミナー（単一地区または地区合同）の企画において、地区ガバナーと地区財団委員会を援助する。
- ロータリー財団管理委員会とRI事務総長が財団の補助金、資金ニーズ、資金管理について地区とクラブ指導者に説明するのを助ける。
- 地区ガバナー・エレクトとクラブ指導者が財団目標（プログラムへの参加と財政支援）を設定するのを支援する。また、ガバナー・エレクトとクラブ指導者が就任の準備をするのを援助する。
- 財団プログラムと募金の目標の達成に向けて、地区ロータリー財団委員会委員を対象とした研修を実施する。
- 地区プログラムと募金の目標の進捗を随時確認し、必要であれば援助を提供する。
- 地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、地区財団委員会に助言し、支援を提供する。

ロータリー財団地域コーディネーターの連絡先は、「Official　Directory」（公式名簿 007-EN）またはRI　ウェブサイト（**www.rotary.org**）に掲載されています。地元地域の元コーディネーターも、ロータリー財団に関する強力な支援源です。

地区ロータリー財団セミナー

ガバナーは、クラブの指導者、地区ロータリー財団委員会委員、その他の関心あるロータリアンのために、地区ロータリー財団セミナーを開催します。このセミナーは、11月15日までに開催すべきです。実施に関しては、地区研修委員会、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ロータリー財団委員会が協力します。詳細は、第4章をご覧ください。

補助金管理セミナー

地区の参加資格を維持するための要件の一部として、地区は補助金管理セミナーを開く必要があります。このセミナーは、クラブ会員が、参加資格について理解し、補助金を効果的に管理し、補助金の使途を監督できるようにすることが目的です。グローバル補助金の申請を希望するクラブは、少なくとも1名の代表者をこのセミナーに出席させる必要があります。セミナーは、会長エレクト研修セミナー、地区協議会、地区大会、地区ロータリー財団セミナーといった地区の会合と一緒に開催できるほか、別個のセミナーとして開催することもできます。ロータリー財団が提供している「補助金管理セミナー指導者用手引き」と「補助金管理の手引き」はwww.rotary.org/ja/fvdistrict（左側の「リソース」のタブをクリック）からダウンロードできます。

ロータリー財団の賞・表彰

ロータリー財団の使命を支援するロータリアンを称えることは、大変重要です。個人、あるいはクラブの貢献が公に認められることで、ロータリアンが地元や外国の地域社会への奉仕にさらに貢献しようという意欲が高まることがあります。文化的にふさわしい方法で、地区のロータリアンの貢献を表彰してください。RIおよび財団の各賞およびガバナーの責務に関する詳細は、第8章をご覧ください。

未来の夢：ロータリー財団の新しい補助金構成

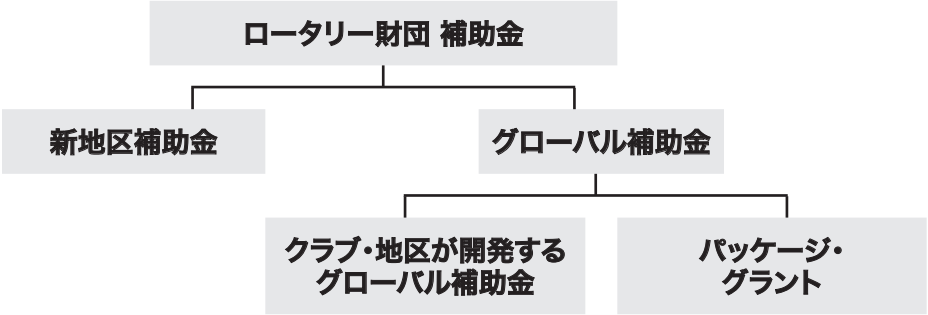
未来の夢計画は以下を目的としています。

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- 測定可能な結果を伴う、持続可能な活動を支援すること。
- ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

最新情報とニュースが、随時www.rotary.org/ja/futurevisionに掲載されます。

補助金の構成

新しい補助金構成の下、財団は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金を提供します。また、グローバル補助金には、クラブまたは地区が立案したグローバル補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。



新地区補助金は、クラブと地区が、ロータリー財団の使命に沿った特定の奉仕分野で、地元や海外の地域社会の緊要なニーズに取り組むことを可能にします。地区は、地区財団活動資金（DDF）の最高50パーセントまでを、この補助金に充てることができ、ポリオ・プラスを支援したり、より規模の大きいグローバル補助金に参加するために、DDFの使用を50パーセントよりも少なくすることもできます。新地区補助金の管理は地区が責任を持って行います。ガバナーは、地区ロータリー財団委員長と密接に協力し、DDFの

配分および地区へのDDF使用報告について、地区に方針が備わっていることを確認するよう奨励されています。ロータリー財団では随時申請書を受け付けていますが、ガバナー就任前の6月に地区が申請書を提出することをお勧めします。新地区補助金により、地区がDDFの管理権を握り、重点分野に当てはまらない活動をクラブと地区が継続していくことができます。**新地区補助金**の詳細はウェブサイトをご覧ください。

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する6つの重点分野のいずれかにおいて、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトに資金を提供します。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。または、協力組織と合同でロータリー財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントの提唱者となることもできます。

クラブまたは地区が立案したグローバル補助金では、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、WF（国際財団活動資金）から最低15,000米ドルが授与されます。DDF（地区財団活動資金）に対しては100パーセント、現金拠出に対しては50パーセントが、WFから組み合わせて支給されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。実施国、援助国の双方の提唱者は、未来の夢計画の試験地区（または試験地区内のクラブ）である必要があります。

グローバル補助金の申請書を提出する前に、提唱者であるロータリアンは、活動内容と期待される成果を記述した提案書を、ロータリー財団に提出する必要があります。提案書が承認された後、クラブまたは地区は、6カ月以内にオンラインで申請書を提出することとなります。財団に提出する前に、申請書には地区ロータリー財団委員長の承認が必要です。

パッケージ・グラントとは、財団とその協力組織が立案するものです。この場合、国際財団活動資金（WF）と協力組織が資金を100パーセント提供し、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたります。パッケージ・グラントの選択肢は、利用が可能になり次第、会員アクセスに掲載されることになっています。

グローバル補助金の全申請書は、年度を通じ、随時ロータリー財団で受け付けています。ガバナーには、目標を設定するとともに、グローバル補助金を申請するようクラブと地区の指導者を奨励し、意欲を喚起する責務があります。また、ガバナーは、上記の重点分野の中から1つか2つの分野を選び、重点的に取り組むこともできます。

ロータリー財団の補助金に関する詳細は、「**新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件**」をご参照ください。

留意事項：研究グループ交換、地区補助金、国際親善奨学金、大学教員のためのロータリー補助金の各プログラムについては、補遺3「年間予定表」の締切日を無視してください。未来の夢計画の下では、新地区補助金はそれぞれの地区が設定した締切日に沿って管理される一方、グローバル補助金は、年度を通じて随時、財団が申請書を受け付けています。

参加資格と資金管理

ロータリー財団の補助金を使って活動をするにはまず、試験地区がオンラインの資格認定手続きを行い、地区の覚書（MOU）に記載された財務と資金管理の方針に従って、これを実行することに同意しなければなりません。地区は、地区の覚書の記載事項を実行することによって、ロータリー財団の補助金資金を適切に管理する準備が整っていることを確認します。また、毎年、地区ガバナーとガバナー・エレクトが7月31日までに資格認定手続きで再承認を行う必要があります。

この「再承認」の手続きでは、地区ガバナー、ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長（新しく就任した場合）が会員アクセスから未来の夢試験地区のページにアクセスし、資格認定手続きのパート1から4までに同意します。7月31日までにこの再承認手続きを完了すれば、地区の資格を引き続き維持することができます。地区は、補助金管理セミナーを実施し、毎年クラブの資格認定を行います。

ロータリー財団の資金を利用する全活動において適切な資金管理を実践するなど、補助金の参加資格を維持するにあたっては、地区チームが重要な役割を果たします。クラブが財団補助金をプロジェクトでどのように使用したかについて、定期的に報告するようクラブに徹底させるため、地区ロータリー財団委員長ならびに地区補助金小委員長と協力してください。資金管理に問題があると懸念される場合は、財団に報告してください。

資格認定に関する詳しい情報は、www.rotary.org/ja/fvdistrictをご参照ください。

ポリオ・プラス

ポリオ・プラスの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明を実現することです。最終的に撲滅が証明されるまで、クラブの会員が絶えず情報に精通し、関与していくことが大切です。これまで、世界で100万人余りのロータリアンが、ポリオ・プラスに900万米ドル以上の寄付を行いました。さらに、ロータリアンは、診療所を支援し、予防接種のために地域社会を動員し、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、地元レベルにおける強力なボランティアのネットワークとして奉仕活動にあたっています。ポリオ・プラス・プログラムは、ポリオのない世界を目指すロータリーの目標を達成を目指し、ロータリー・クラブや地区だけでなく、個人のロータリアンも関与することのできるプログラムです。ガバナーには、ポリオ撲滅の証明がなされるまで、撲滅活動への関与を支援するという責務があります。

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

ロータリー平和センター・プログラムは、国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力開発修了証の取得を目指す人に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供するものです。

地区は、世界競争制の選考審査のために、ロータリー財団にロータリー平和フェローシップ申請書を提出することができます（提出期日は6月30日）。

シェアおよび地区財団活動資金

お忘れなく

8月、前年度から繰り越された未使用分DDFについて、地区に通知されます。この未使用分は、使用できるDDF合計に自動的に含まれます。ただし、繰り越されたDDFは、新地区補助金として使用できるDDFの50パーセントの計算には含まれませんのでご留意ください。

シェア・システムにより、ロータリー財団の資金が世界中に配分されると同時に、新地区補助金、グローバル補助金、ポリオ・プラス、ロータリー平和センターなど、地区が資金をいかに配分するかを決定することが可能となります。

ロータリー年度末に、各ロータリー地区の年次プログラム基金への寄付は、次の2つの基金に分けられます。

- 50パーセントが国際財団活動資金（WF）へ
- 50パーセントが地区財団活動資金（DDF）へ

財団は、WFとなった資金を、さらに維持可能なプロジェクトまたは6つの重点分野のいずれかを支援する補助金のために使用します。地区は、DDFとなった資金を、新地区補助金またはグローバル補助金への参加を通じて使用します。

財団は、寄付が受領された3年後にプログラムのためにこれが使用されるという、独自の資金周期を採用しています。この周期により、地区がプログラムの計画や参加者の選考に充てる時間が得られるだけでなく、財団がこの寄付を投資活用することが可能になります。投資による収益は、全般的な管理運営費と寄付増進の経費を賄います。

ガバナーが委員を務めるロータリー財団地区委員会には、地区財団活動資金の使途を決定する責務があります。委員会の決定は、地区ロータリアンの関心を反映するものでなければなりません。資金は、財団が補助金の申請書を承認した段階で、DDFから差し引かれることになります。ガバナーと地区財団委員長は、地区ロータリー財団委員会を代表し、DDFに関して承認の署名をする権限があります。

寄付増進

寄付増進活動は、補助金プログラムを実施するために財団が必要とする財政支援の確保を目的としています。財団に寄せられた寄付は、年次プログラム基金、恒久基金、あるいはポリオ・プラス基金に指定することができます。

年次プログラム基金

年次プログラム基金は、ロータリー財団の補助金とプログラムの主な資金源です。この資金は、毎年、新地区補助金、グローバル補助金、その他の活動に使用されます。地区ガバナーは、「毎年あなたも100ドルを」推進活動を通じて、ロータリー財団への継続的な年次寄付を推進するよう求められています。この推進活動は、財団プロジェクトに参加し、財団の年次プログラム基金に毎年寄付することをすべてのロータリアンに呼びかけるものです。

恒久基金

恒久基金は、基金を通じて将来のロータリー財団プログラムを確保するためのものです。資金の一部は、需要に応えるための追加資金として、毎年財団プログラムに配分されます。恒久基金への寄付は、奨学金基金、遺贈、終身年金契約といった現金寄付の形で寄せられることが少なくありません。恒久基金への寄付は複雑であるため、担当のロータリー財団地域コーディネーター、あるいは、資金推進小委員会に連絡を取り、詳細を問い合わせてください。

ポリオ・プラス基金

ポリオ・プラス基金は、全国予防接種日や監視活動を含むロータリーのポリオ撲滅活動の経費に充てられます。ポリオ・プラス基金への寄付は、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の達成に役立てられます。クラブは、このチャレンジの達成を助けるために、地元地域で独自の募金活動を行うよう奨励されています。ロータリー地区も、DDFを「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」に配分してこれを支援することができます。

お忘れなく

「**未来の夢試験段階のニュースレター**」では、未来の夢計画に関する最新情報をお伝えしています。

クラブ寄付目標

会長エレクト研修セミナー中に、地区内のクラブは、次年度の年次プログラム基金の目標を定めます。会長エレクト研修セミナー中、あるいは5月1日までに、寄付増進クラブ目標報告書式（書式M）を記入し、ガバナー・エレクトに提出するよう、会長エレクトに要請してください。書式は、6月の国際大会で年次プログラム基金の全世界目標を発表することができるよう、5月にロータリー財団に提出してください。ガバナーとしての年度中には、クラブが募金活動の目標を達成できるよう支援してください。

リソース

RI役員と財団役員ならびに被任命役員の連絡先は「公式名簿（Official Directory）」またはwww.rotary.org/jaをご参照ください。出版物はwww.rotary.orgからダウンロードするか、国際ロータリー日本事務局、**shop.rotary.org**、shop.rotary@rotary.orgからご注文いただけます。

人材

- ロータリー財団地域コーディネーター補佐（RRFC補佐）：財団の年次寄付目標と恒久基金目標の達成に向けてロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、地区、クラブを援助するとともに、ロータリー財団補助金についてロータリアンに情報を提供する。
- 地区ロータリー財団委員会： 地区のすべてのロータリー財団活動を監督する責務を負う。
- ポリオ・プラス委員会：ポリオ撲滅活動へのロータリーの参加に関して、国際、国内、地域、地元レベルで顧問を務める。
- ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）：ロータリー財団全般に関して、地区とクラブを援助するために任命されたロータリアン。
- ロータリー財団学友コーディネーター（RFAC）：財団プログラムの学友とのつながりを再び築き、学友に財団の活動に参加してもらう目的で、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を援助する。

- RI世界本部ロータリー財団、またはRI日本事務局の職員：ロータリー財団プログラムおよび寄付増進に関与しているロータリアン、クラブ、地区に支援や助言を提供する担当職員。

情報資料

- **「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」（226E-JA）への未来の夢計画に関する補遺資料**：委員会の役割と任務の概要に加えて、利用可能なリソースが網羅されている。
- 「ロータリーの2億ドルのチャレンジ・パンフレット」（986-JA）：ポリオ撲滅に対するロータリーの懸命な取り組みについてロータリアンおよびロータリアン以外の支援者に伝えるとともに、ロータリーの2億ドルのチャレンジへの支援を呼びかけるもの。
- 「ポリオ・プラス・パンフレット」（323-JA）：現況と統計を収めた世界的ポリオ撲滅活動に関する最新情報。ロータリーとその主要提携団体の貢献と、ポリオのない世界にするために残されている課題も解説している。
- 「『毎年あなたも100ドルを』クラブ・サクセス・キット」（958-JA）：年次プログラム基金への寄付とプログラムへの参加を推進するにあたり、ロータリー・クラブが活用することのできるパンフレット、ステッカー、指針が収められている。
- **www.rotary.org/ja/fvdistrict**：ロータリー財団に関する総合的で詳細な最新の情報源。多くは無料でダウンロードが可能で、Eラーニングのモジュールも用意されている。
- 「国際ロータリーとロータリー財団の年次報告書」（187-JA）：年末の財政的数字および卓越したプログラムの功績。
- 「ロータリー財団携帯用カード」（159-JA）：最新の財団の統計的な概要を記したポケット型のカード。

連絡先

未来の夢計画に関する一般的なお問い合わせ：**futurevision@rotary.org**
未来の夢試験段階の資格認定に関するお問い合わせ：**fvqualification@rotary.org**
ロータリー財団に関する一般的なお問い合わせ：**contact.center@rotary.org**
（1.18ページの補遺5、RIおよび財団職員の連絡先をご参照ください）

討論のための質問

ガバナー・エレクト研修セミナーの準備として、以下の質問について考えてください。

クラブに参加してほしいと思うのは、どの財団活動ですか。

地区は、どの財団プログラムに参加したことがありますか。未来の夢計画の下で、これらのプログラムは「新地区補助金」と「グローバル補助金」のどちらに当てはまるでしょうか。

毎年すべてのロータリアンに年次プログラム基金に寄付してもらうために、どのような方法で意欲を高めますか。

GETS ワークシート1: 未来の夢試験段階のセッションまとめ

メモ

責務

学んだこと

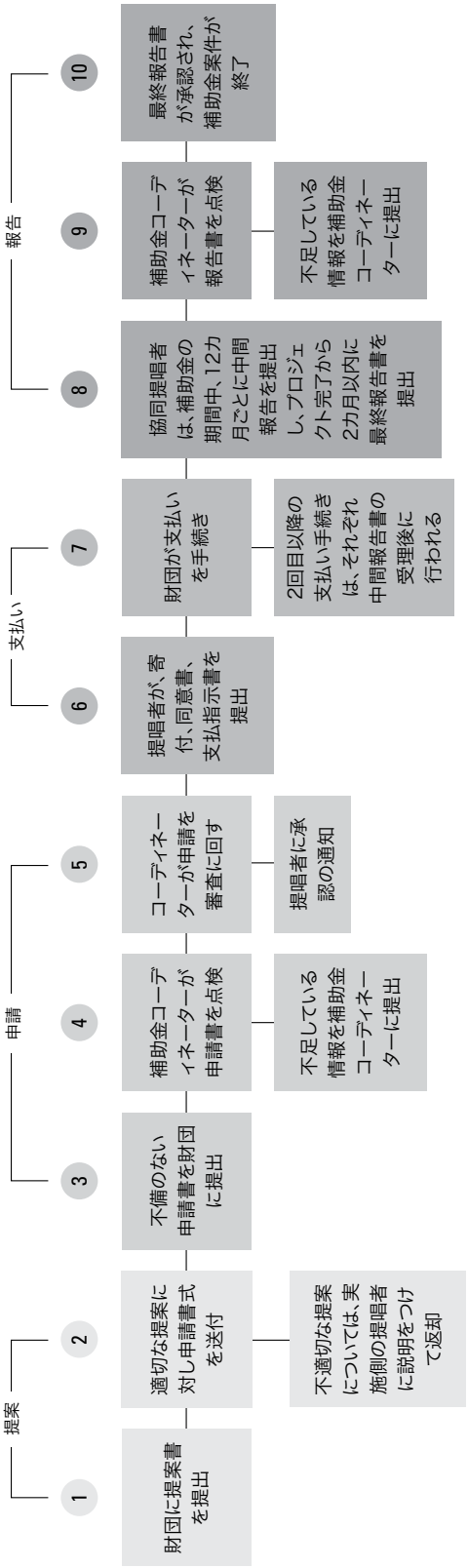
これから実行すること

連絡先

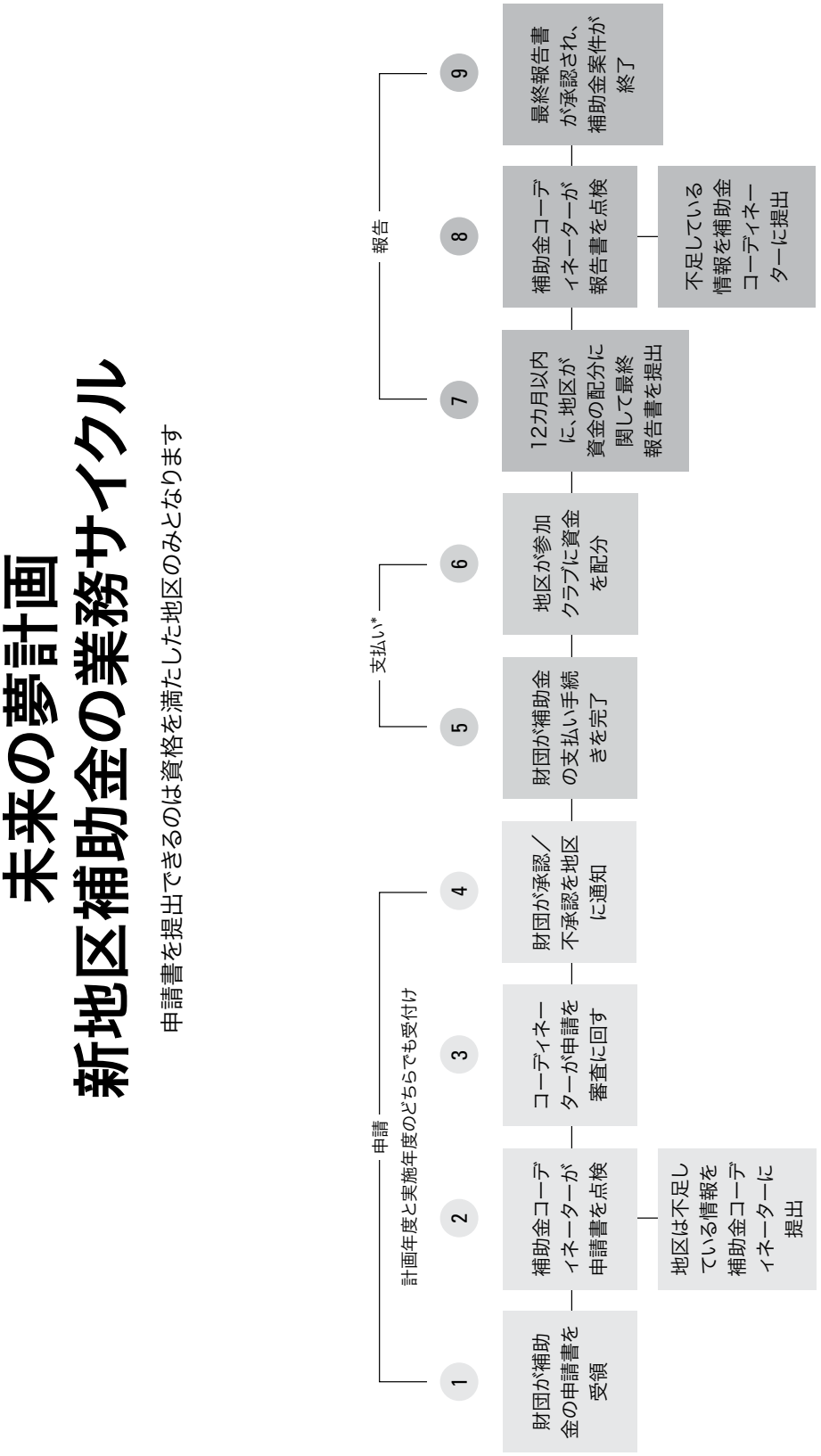
GETS ワークシート2: グローバル補助金の業務サイクル

未来の夢計画
グローバル補助金の業務サイクル

資格を満たしたクラブと地区のみが提案書を提出できます



GETS ワークシート3: 新地区補助金の業務サイクル



* 支払いに必要な情報の提出締切日は実施年度の5月15日です。地区が1度に管理できる新地区補助金は1口のみです。新しい新地区補助金の支払いが行われる前に、以前の補助金が終了していなければなりません。

GETS ワークシート4: 新地区補助金 使用計画の見本

以下は、新地区補助金の使用計画の見本です。地区は、補助金資金を受領するために、使用計画をロータリー財団へ提出します。

地区／クラブ	プロジェクトの内容	新地区補助金の配分額（米ドル）
第27XX地区	発展途上国への奨学生派遣	$25,000
第27XX地区	アフガニスタンからの職業研修チーム（2名）受け入れ	$7,000
名古屋東	グアテマラの学校へ辞書寄贈	$15,000
名古屋西	インドでの保健プロジェクト	$15,000
第27XX地区	地元大学に通う学生のための奨学金	$20,000
第27XX地区	予期せぬ事態が発生した場合に備える予備金	$10,000
新地区補助金の申請額合計（米ドル）		**$92,000**

GETS ワークシート5: 地区財団活動資金（DDF）の配分

2011-12年度に実施するプロジェクトのアイデアを提出するようクラブに呼びかけたところ、以下の提案が地区に提出されました。地区の2011-12年度地区財団活動資金（DDF）は200,000米ドルです。二人一組となり、どの提案にDDFを配分するか話し合ってください。

1. 地区が立案するグローバル補助金：地区は、重点分野のいずれかに関連する分野で修士号取得をめざす学生に奨学金（2口）を提供したいと考えています。地区は、60,000ドルのDDFを使用し、国際財団活動資金（WF）から60,000ドルの上乗せ資金を受領します。全クラブが地元で奨学金を推進するよう奨励されます。
2. クラブが立案するグローバル補助金：クラブは、熱帯病の予防と治療について学ぶために海外の大学院に留学する学生のために、奨学金を提供したいと希望しています。学費、旅費、宿舎の費用は合計42,000ドルです。クラブは、大学が所在する地区内のクラブと協同して、合計予算42,000ドルのプロジェクトを財団に提案します。派遣地区がDDFから21,000ドルを拠出し、財団がこれに21,000ドルのWFを上乗せします。
3. クラブが立案するグローバル補助金：以前にグアテマラで井戸プロジェクトを援助したことのあるクラブに、現地の人々から、地元事業を立ち上げ、維持するための研修プログラムの実施を手伝ってほしいと依頼がありました。研修資料、備品、8人のロータリアンの旅費のための費用が必要とされています。これらのロータリアンは、グアテマラで1カ月間、100人の地域社会のメンバーに研修を提供します。また、これらのロータリアンは、マーケティング費用、商品の在庫管理、その他の関連ニーズなど、地元事業の立ち上げのための初期投資も提供します。プロジェクトの終了後には、グアテマラのロータリアンが現地事業との連絡を保ち、必要に応じて事後の視察や研修を行います。このクラブがDDFから60,000ドルを寄贈し、財団がこれに60,000ドルのWFを上乗せすることで、プロジェクトの合計資金は120,000ドルとなります。
4. クラブが立案するグローバル補助金：複数のクラブが合同で、ロータリアンの医師6名とロータリアンのチームリーダー1名から成るチームをナイジェリアに派遣しようと考えています。このチームは、母子の医療について視察し、都市部および僻村部の病院で、現地の医師に新しい医療技術について研修する予定です。この旅行とクリニックの医療品の費用は、15,000ドルです。病院での研修の後、ロータリアンの医師たちは、ナイジェリア現地のクラブ会員たちとともに、僻村部の医療センターに母子の健康キットを配布します。このキットが正しく使用されるよう、ロータリアンの医師たちは、僻村部の医療従事者を対象に基本的な研修を行い、この費用に15,000ドルがかかります。クラブはDDFから15,000ドルを使い、ロータリー財団はWFから15,000ドルを上乗せして提供します。
5. 新地区補助金：地元の学生1名がコスタリカで夏に2カ月間、語学研修コースを受講できるよう、クラブが2,000ドルを申請しています。
6. 新地区補助金：地元の学校に教材を贈るため、クラブが5,000ドルを申請しています。
7. 新地区補助金：ロータリアン4名のグループが文化交換を目的に海外を訪問できるよう、地区が8,000ドルを申請しています。
8. 新地区補助金：地元の3つの小学校に新しい辞書を寄贈するため、クラブが3,000ドルを地区に申請しています。
9. 新地区補助金：夏休みの短期留学プログラムに参加する地元高校生に奨学金を授与するため、クラブが2,500ドルを申請し、これを授業料に充てようと計画しています。
10. 新地区補助金：台風の被害を受けた村に、道具や食糧を提供し、現地にロータリアン3名を派遣するため、クラブが12,000ドルを申請しています。
11. 新地区補助金：大地震の被害を受けた国の人々に30のシェルターボックスを贈るため、2つのクラブが30,000ドルを申請しています。
12. 新地区補助金：ロータリアン4名が文化交換として3週間、ガーナに滞在できるよう、クラブが18,000ドルを申請しています。

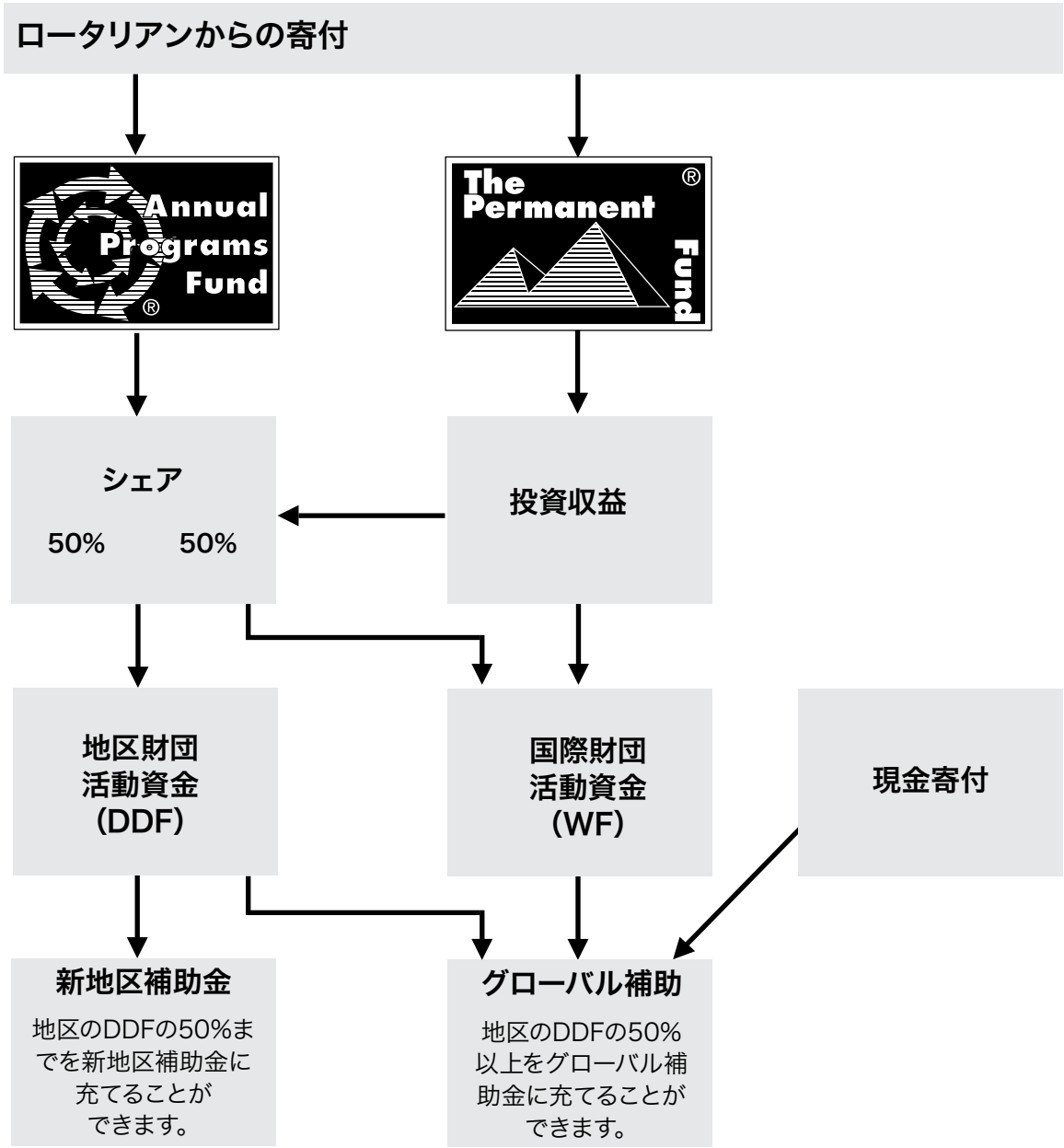
13. 新地区補助金：地区は、年度内に不測の事態が生じた場合に備えて、20,000ドルの予備金を確保しておきたいと考えています。

14. 寄付の要請：地区のDDFの20パーセントあるいは40,000ドルをロータリーの2億ドルのチャレンジに寄贈するよう、ポリオ・プラス委員長が要請しています。

地区はどの提案を承認しますか。

それらの提案を承認した理由は何ですか。

GETS ワークシート6: 補助金モデル



第10章

各種書式

未来の夢計画の内容を反映して改訂された以下の書式をご利用ください。

書式A： **未来の夢試験地区の活動計画の指標：ロータリー財団**のセクション
10.7～10.9ページ

書式E：地区委員会の任命は、**会員アクセス**でご入力いただけます。地区ガバナー・エレクトとガバナーは、それぞれの就任年度に任命する役員のみを入力または変更することができます。3つの小委員会（ポリオ・プラス、補助金、資金推進）についてのみ、任命した役員をご報告ください。
10.11～10.24ページ

書式L：効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標：未来の夢計画
10.29～10.30ページ